



平成 17 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社九州リースサービス  
代表者名 取締役社長 榎 本 重 孝  
(コード番号 8596 福証 )  
問合せ先 常務執行役員 山下 伊 佐 夫  
業 務 本 部 長  
(TEL. 092 - 431 - 2530)

### 業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 5 月 16 日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正について

(1) 平成 18 年 3 月期中間業績予想の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 5 月 16 日発表)	15,000	1,300	1,300
今回修正予想 (B)	14,604	2,453	1,442
増減額 (B) - (A)	396	1,153	142
増減率	2.6%	88.7%	10.9%
前期 (平成 17 年 3 月中間期) 実績	15,330	2,466	422

(2) 平成 18 年 3 月期連結中間業績予想の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 5 月 16 日発表)	15,000	1,300	1,300
今回修正予想 (B)	14,623	2,481	1,468
増減額 (B) - (A)	377	1,181	168
増減率	2.5%	90.8%	12.9%
前期 (平成 17 年 3 月中間期) 実績	15,348	2,569	523

### (3) 修正の理由

#### 単体

中間期の売上高につきましては、融資事業において積極的な事業展開を行ったことにより営業貸付収益が前回予想を上回る見込みではありますが、販売用不動産売却収入の計上が一部下半期にずれ込んだことなどにより、全体では前回予想を下回る見込みであります。

また、中間期の経常利益につきましては、資金調達コストの低減、営業外収益における投資有価証券売却益の計上及び匿名組合投資収益の増加などにより、前回予想を上回る見込みとなりました。一方、特別損失として投資有価証券評価損 753 百万円、固定資産除却損 211 百万円を計上することにより、中間純利益は 1,442 百万円となる見込みであります。

なお、通期業績予想の修正につきましては、今回発表の内容も加味し平成 17 年 11 月 14 日の中間決算発表時に行う予定であります。

#### 連結

単体業績予想の修正に伴うものであります。

## 2. 特別損失の発生について

当中間期におきまして、投資有価証券のうち取得価額に比べ実質価額が著しく低下しており、今後も回復可能性が見込まれないものについて評価損 753 百万円を計上し、賃貸用不動産の建て替えに伴う固定資産除却損 211 百万円を計上いたします。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因により変動する可能性があります。

以 上